日本史特殊講義1B－Ⅰ

科目ナンバリング　JPH-201
選択必修　　2単位

相澤　　央

1. 授業の概要（ねらい）

古代律令国家による地域支配や地域社会の実態について、特定の地域をモデルケースとして取り上げて考察する。春期は武蔵国を主とした坂東（関東）を取り上げる。古代の坂東は、律令国家から一つのまとまりとして捉えられていた。この坂東を舞台として展開した、地域支配や交通、村に暮らした民衆などについて、文献史料だけでなく、考古資料も活用しながら具体的に論じる。

2. 授業の到達目標

①律令国家による坂東支配や、坂東の地域社会の実態について理解する。
②授業の中で特に興味をもったテーマについて、参考文献を読むなどして理解を深め、自分なりの見解を交えてレポートにまとめる。

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業内容についての感想と質問（30%）と、4000字程度の期末レポート（70%）で評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
川尻秋生　『古代の東国2　坂東の成立　飛鳥・奈良時代』　吉川弘文館
荒井秀規　『古代の東国3　覚醒する〈関東〉　平安時代』　吉川弘文館

5. 準備学修の内容

授業で紹介した参考文献を熟読し、自分なりの見解をもって次回の授業に出席すること。

6. その他履修上の注意事項

毎回、授業内容についての感想・質問を提出する。

7. 授業内容

【第1回】　授業の内容、進め方などについてのガイダンス
【第2回】　古代坂東の概要（その1）古墳時代
【第3回】　古代坂東の概要（その2）奈良・平安時代
【第4回】　古代の武蔵国と国府
【第5回】　出土文字資料からみた坂東の官衙と支配
【第6回】　古代坂東諸国の租税
【第7回】　古代安房国のアワビと布
【第8回】　古代武蔵国の駅路
【第9回】　古代坂東の水上交通
【第10回】　古代坂東の村落と文字
【第11回】　大学周辺の郷と集落遺跡
【第12回】　墨書土器からみた古代坂東の民衆の信仰
【第13回】　古代坂東の民衆と仏教
【第14回】　平将門の乱と武蔵国
【第15回】　平将門の新皇即位と菅原道真